

会 議 録

会議名	令和5年度 第2回知立市総合公共交通会議
日 時	令和5年12月5日(火) 午前10時00分～11時40分
場 所	知立市市役所 第2・3会議室
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) ミニバスの利用状況について 【資料 1-1～1-2】</p> <p>(2) 夏休み期間中の中学生のミニバス利用状況について 【資料 2】</p> <p>(3) 乗車料金種別調査について 【資料 3】</p> <p>(4) 知立市「ミニバス」デジタルサイネージの設置について 【資料 4】</p> <p>(5) ちりゅうこどもフェスティバル「バスの運転手になろう」開催について 【資料 5】</p> <p>4. 協議事項</p> <p>(1) 地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）の事業評価について 【資料 6】</p> <p>(2) 本郷知立線供用開始に伴う路線変更及びバス停移設について 【資料 7】</p> <p>5. その他</p> <p>6. 閉会</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第、委員名簿、座席表 ・ 事前配布会議資料 ・ 当日配布資料（資料 5、ミニバスガイド、チラシ 1 枚）
出席者 《 》は 代理出席者	<p>【委 員】 山崎委員 ((公財) 豊田都市交通研究所主幹研究員)</p> <p>潮田委員 (愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長)</p> <p>上原委員 (名鉄バス株式会社運行本部交通企画官)</p> <p>花村《夫馬》委員 (名古屋鉄道(株)地域活性化推進本部交通サービス担当課長)</p> <p>永井委員 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事)</p> <p>磯貝委員 (知立市身体障害者福祉協議会副会長)</p> <p>三浦委員 (知立老人クラブ連合会会長)</p> <p>岩城委員 (知立市商工会女性部長)</p> <p>竹山委員 (公募市民)</p> <p>山下委員 (公募市民)</p> <p>岡本《宮川》委員 (中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>石屋《名倉》委員 (愛知県都市・交通局交通対策課担当課長)</p> <p>渡辺《天木》委員 (愛知県知立建設事務所維持管理課長)</p> <p>高木委員 (知立市都市整備部長)</p> <p>近藤委員 (知立市土木課長)</p>
欠 席 者	<p>小林委員 ((公社) 愛知県バス協会専務理事)</p> <p>古川委員 (愛知県安城警察署交通課長)</p>

内容（概要）	
1. 開会	
（司会）	<p>お待たせをいたしました。定刻前ではございますが、ただいまより令和5年度第2回知立市総合公共交通会議を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日の会議出席者は15名で、全委員17名の過半数を超えておりますので会議は成立していることを報告いたします。</p> <p>それでは、会議に入ります前に資料の確認をお願いいたします。本日お手元に配布させていただきました「会議次第」、「委員名簿」と「座席表」の両面のもの、「ミニバスガイド」、差替えの資料5、事前にお送りしました「令和5年度第2回知立市総合公共交通会議資料」、また県の方から配付されましたMa a Sの実証実験についてのチラシです。お手元にございますか。</p> <p>本日も感染症拡大防止の観点から極力時間短縮に努めて進行させていただきますのでご了承いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、はじめに市長よりご挨拶申し上げます。</p>
2. あいさつ	
（市長）	<p>本日は大変お忙しい中、第2回知立市公共交通会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。人材不足、また、新しい働き方の改革の定着による利用者減少など、地域公共交通を取り巻く社会状況は厳しさを増しております。そのような中で鉄道、バス、タクシーなどの運行事業者の皆様方におかれましては、公共交通サービスの維持に大変なご尽力をいただいております。ありがとうございます。知立市のミニバスの利用状況でありますけれども、コロナ禍前の8割程度まで回復してきております。特に夏休み期間中の、中学生のミニバス利用状況がコロナの前よりも増加してきております。大変明るい兆しだと思っております。しかしながら、テレワークなどの新しい働き方の定着による利用者の減少もあり、これからはミニバスを利用したこともない方の利用を促進する対策を検討実施していかなければいけないと思っております。そうした中で交通弱者と言われる方々に対して、より乗りやすい、持続可能な公共交通ネットワークの実現のためにご指導賜ればと思っております。なお過日、知立市文化会館において、ちりゅうこどもフェスティバルが開催されました。多くの方がお越しいただいたわけではありますが、その際に、ミニバス1台パープルコースの紫色のバスを文化会館に置いて、子ども達にバスの車内を自由に見ていただく、運転席にも座っていただいで、楽しんでいただくなど、子どもの頃からミニバスに親しんでいただく、そんな環境づくりにも努めております。その際は、本日ご来席の皆さま方にも大変なご理解ご支援いただいております。ありがとうございます。それでは繰り返になりますけれども、より多くの皆様方がこのミニバスを利用していただけ、愛していただけるようにこれからも務めてまいりますので、本日もよろしくをお願いいたします。</p>
（司会）	<p>本来ですと、ここで委員の皆様のご紹介をさせていただくところでございますが、時間の都合もありますので、11月から新たに委員になられた方をご紹介させていただきます。名鉄バス株式会社の上原真人様でございます。</p>
（新委員）	<p>前任の大野に代わりまして委員を担当させていただきます、名鉄バスの上原と申します。よろしくお願ひします。元々ミニバスの乗務をしております、今は知立のエリア担当をしております。よろしくお願ひします。</p>

(司会)	<p>その他の委員の皆様につきましては、配付いたしました名簿および座席表にて代えさせていただきますので、ご了承いただきたいと思ひます。</p> <p>本日は報告事項が5件、協議事項2件につきまして、ご審議をいただきます。市民の皆様にとって、より便利な公共交通となりますよう、さらに協議を重ねていきたいと思ひますので、委員の皆様方にはご協力をいただきますよう、よろしくお願ひします。それではここからの議事進行は会長の山崎会長に交代させていただきます。山崎会長よろしくお願ひします。</p>
3. 報告事項	
(会長)	<p>おはようございます。本会の会長をさせていただいております、公益財団法人 豊田都市交通研究所の山崎でございます。暑かったり寒かったり繰り返しておりましたが、皆さまお体に気をつけていただきたいと思ひます。</p> <p>最近の公共交通の話題としてお話ししたいのは、豊田市でバスの自動運転実証実験を行っております。国の補助金をいただいて中心市街地玄関口バスという2キロちょっとの短い路線、街中を走るバスですが、自動運転の実証実験を12月28日まで運行しておりますので、もし機会があったら豊田市駅の西口から福祉センターまで走っておりますので、是非乗っていただければと思ひます。ただ今自動運転もレベル4という完全自動運転に近いような状況まで来ていますが、国としてもレベル4を目指した実験をやるように言っていますが、都市部なのでレベル2という運転手が必要に応じて、場所によっては操作するような運転です。都市部なので仕方ないですが、もし知立のミニバスで行うとしてもレベル2が、都市部の中では精いっぱいかな、と思ひています。豊田の実験で何か良い結果が出てきたら知立市にも情報提供していきたいと思ひます。</p> <p>では、座って会議を進めさせていただきます。</p> <p>お手元の次第をご覧ください。報告事項が5つありますので、ひとつずつ報告していただきたいと思ひます。まず「ミニバスの利用状況について」ということで、資料の1-1と1-2です。事務局から説明をお願いします。</p>
(事務局)	【資料1-1・1-2に基づき説明】
(会長)	<p>ただいまご説明いただきましたミニバスの利用状況に関しまして、ご意見ご質問あればお願ひします。いかがでしょうか。よろしいですか。路線バスの回復は、コロナでかなり利用者が減少しましたが8割9割くらいまで戻っているようです。世の中で大体そのような状況になっています。知立もしっかり戻ってきているという状況であります。3コースに関しましては、10月は令和元年の利用者より多かったという結果となっています。ではこういう状況であると頭に入れていただいて、今後の議論で何か気づくことがあればご意見いただきたいと思ひます。</p>
(会長)	<p>それでは報告事項2番目、「夏休み期間中の中学生のミニバス利用状況について」ということで、資料2の説明をお願いします。</p>
(事務局)	【資料2に基づき説明】
(会長)	<p>ただいまご説明いただきました、夏休み期間中の中学生のミニバス利用状況について、何かご意見ご質問があればお願ひします。いかがでしょうか。よろしいですか。夏休み期間中、中学生利用者は無料ということで、平成27年から9年実施しています。どこかで一度、評価をやりたいと思ひのですが、過去にこれを体験することで、バスに乗り降りができる</p>

	ようになった、抵抗感がなくなった、乗り慣れたなどの意見があればすごく価値のあることだと思います。今後これを調査して評価していくということについて、事務局いかがでしょうか。経年的な変化だとか、過去にこれを体験した子どもたちがどう感じたかなどについてです。
(事務局)	会長が言われるように、将来のミニバスユーザーとして現在使っていただいているかどうか、私たち事務局としても、大変気にしているところであります。把握できる方法があれば、タイミングをみてやっていきたいと考えています。
(会長)	ずいぶん昔に中学生だった人に聞くということはなかなか難しいかもしれませんが、私も何か調査事例があれば探してみたいと思います。よろしいでしょうか。
(会長)	それでは報告事項3つ目、「乗車料金種別調査について」ということで、資料3の説明をお願いします。
(事務局)	【資料3に基づき説明】
(会長)	ただ今ご説明いただきました、乗車料金種別調査について、ご意見ご質問があればお願いします。いかがでしょうか。
(委員)	聞き逃したかもしれませんが、この乗車料金種別調査の目的を知りたいのと、2日間調査時間を使ったということですが、自動化はできないのかを教えてください。
(事務局)	調査につきましては、運輸局からもご指導がありまして、ミニバスを運行するに当たって負担金等を決めていく中で、その算定の基となる非常に重要な調査になります。人数等この調査自体の自動化ということですが、報告事項1でもありました、乗車人数のカウントにつきましても、バスによっては自動的に人数カウントができるものを搭載しているものもあると聞いていますが、名鉄バス様につきましては、運転手の方にカウントしていただきまして運行していると聞いております。この種別調査につきましても、調査員の方が実際に乗車されたお客様に聞き取り調査を行い人数の把握をしております。
(委員)	自動的にカウントできるような形であれば、もっと調査日数を増やしたり、平日だけではなく、週末も含めた調査ができるのではないかと、母数を増やせるのではないかと思いました。
(会長)	確かにそうですね。自動化するとより多くの調査が可能となるとと思いますが、難しい面もあり、ICカードは自動でカウントできますが、他のものは実際、運転手に乗車の時に見せてカウントする形になっていきますので、そこを自動化にするためには設備を整える必要があるのと、お金がかかるといったところがあるかと思っております。
(委員)	今、紙でカウントしているものでも自動化にできそうなものがありそうな気もするので、考えていってはどうかと思います。
(事務局)	ご意見ありがとうございます。
(会長)	そうですね。コミュニティバスも今様々なところでIC化が進んでいますけれども、地域特有の部分については難しいところもあると思います。 その他にはよろしかったですかね。 それでは報告事項4番目、「知立市「ミニバス」デジタルサイネージの設置について」ということで、資料4の説明をお願いします。
(事務局)	【資料4に基づき説明】
(会長)	ただ今、説明いただきましたデジタルサイネージの設置の状況について、何かご意見ご質

	問あればお願いします。資料の真ん中くらいに行政情報についても色々流したということですが、市が流せる枠の中で、このようなものを流した方が良いなどのアイデアを委員の皆さんから頂きたいと思いますがいかがでしょうか。
(委員)	バス停の近くにある観光名所などを放映して、市民の方に降りてみようかなと思っていただけるといいかなと思います。
(事務局)	現在、観光担当の経済課の方に依頼をしております、ミニバスで回ることができる知立市の観光名所を動画にさせていただき、放映の日は未定ですが年間通して行政情報の放映予定のない時などに流していこうと思っています。
(会長)	事務局も動いているようですので、ぜひ普段のお買いものだけでなく、高齢者の方にも知立にはこんなところがあったのか、じゃあ降りてみようと思ってもらえるような情報があると良いと思います。
(市長)	市労連の会長様や身障者会の副会長様もいらっしゃるので、最近の中々会員が集まらないといったお話もお聞きますので、イメージビデオなどの放映をして会員募集を図るといったことはどうなのでしょう。
(委員)	会員が減っているというのは事実であります。先ほど免許証返納者の利用も増えているということでもありますので、ミニバスの中で、放映して会員募集するというのも一つかと思えます。これは無料で良いのでしょうか。
(事務局)	まちづくり課で直接というのは中々難しいところだと思いますので、それぞれの担当部署を通じてお話しいただければと思います。
(市長)	無料でできるように、高齢者の方の利用も多いので、それを見て老人クラブに入ろうと思ってもらえるようなものが流せたらと思います。
(委員)	12月2日に「草の根フェスティバル」を開催しました。今年は沢山の方にご来場いただきありがたかったのですが、そういったイベントの周知などもデジタルサイネージでやっていただけたらと思いますし、障がいのある方の中には様々な方がいらっしゃいます。そういった方たちが今スポーツに大変興味を持って取り組んでいて、大変メンバーが増えました。例えばカローリングやボッチャの教室を開催したり、中にはダーツ大会というものに年に一度、身障者会の方から参加させていただいたりしています。そういった活動内容をそういったところで紹介できたら良いと思います。
(市長)	部長会議などでも一度投げかけをしてみたいと思います。また担当部署へもお話していただけたらと思います。
(会長)	行政情報の方でしっかり流していけるということですね。他にはどうですか。
(委員)	あいさつなどの簡単な手話の動画を流したり、知立市は外国人の方も多いので外国語だったり流したらどうかと思います。動画自体は学校教育に協力を促せば、子どもを使った動画の作成などは子どもも喜ぶのではないかと思います。
(事務局)	動画を流すことで、小学生のお子さんに乗っていただける機会にもなると思いますので、どのような形でできるかということをもたえなければいけないとは思いますが、検討したいと思います。
(会長)	委員の方々から良い意見が出てきたと思います。是非、実現できたらと思います。それでは報告事項5つ目、「ちりゅうこどもフェスティバル「バスの運転手になろう」開催について」、資料5の説明をお願いします。

(事務局)	【資料5に基づき説明】
(会長)	ただ今ご説明いただきました、ちりゅうこどもフェスティバルについて、何かご意見、ご質問等あればお願いします。いかがでしょうか。
(委員)	若年層に向けてのPRができたとても良いイベントだったと思います。私も参加させていただきました。子どもはまだ小さいのですが、バスを見るのも乗るのもとても好きで、たまには自家用車だけではなく、バスに乗ってみようと思っているのですが、子どもが小さいのでバスの中で子どもがうるさくしてしまわないかなどの心配があります。バスの中に「小さいお子さんも大歓迎です」のようなことを書いたポスターなどが貼ってあると、親は乗っても良いのだなあと思って安心するのではないかと思います。今後もイベントへの参加はぜひ続けていってほしいと思います。
(事務局)	他の公共交通機関でも共通する課題かと思しますので、考えていきたいと思います。
(市長)	とても良い意見だと思しますので、良い表現があったら教えてほしいと思います。
(委員)	先ほども言われたように子どもだけでなく、障がい者の方も乗車する際、バスが混んできたりすると他の乗客から嫌な顔をされたり、乗車に時間がかかることに舌打ちされたりした、といったことがあります。そのようなことにも少し心に余裕を持ってもらえるようなポスターや掲示があるとありがたいと思います。
(会長)	そうですね。高齢者、障がいのある方、お子さんといった動きに制限のかかる方たちにやさしくなろうよといったPRやキャンペーンみたいなものがあると良いのではとも思ったりします。 運行事業者様側から、何かお客様にご理解いただくような方法みたいなものはありますか。
(委員)	あまり事象としては聞いておりませんが、運転手側もそのようなお客様が乗車していただく際は、周りのお客様にお声掛けをするといったことは大切だと思います。言われるようにポスター等貼っていただくと、周りからの理解は得やすいと思います。
(会長)	運輸局様の方でポスターなどを作成されるようなことも良いのではないかと思います。どうですか。
(委員)	そうですね。何か良いものはないかと今考えていたところではありますが、個人的にはそのような事象があったとしても、運転手が注意するのは中々難しいところもあると思いますので、何か注意を促せるものがあっても思いますが、行政として考えた時には絶対的なものでないため、何か良い表現の仕方はないものか考えた上で、国としても前向きに検討していきたいと思います。またそのようなものが作成出来ましたら、もちろん自治体の方にもご案内していきたいと思います。
(市長)	知立市独自でも何か考えていけたらとも思います。
(会長)	良い話し合いができていますので、この場のお話だけで終わらないように何か行動に移していけたらと思しますのでよろしくをお願いします。他にありませんか。
(委員)	先ほどのりものカードのことが出ましたので、お話しさせていただきます。のりものカードにつきましては、この7月に第1弾ということで、知立市の方も参画していただきまして、本当にありがとうございます。小さいころから少しでも公共交通に慣れ親しんでいただくという趣旨のもとで展開させていただきまして、また第2弾を予定しております。また子どものみだけでなく一般の方へのファンづくりといった趣旨もあります。今後も続

	けていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
(委員)	次回またこのようなイベントがありましたら、タクシーの方も一緒に展示させていただけるとありがたいと思います。大府市や東浦町と相談させていただいて、産業まつりにコミュニティバスの隣にタクシーを置いて、お子さんが運転手役を行い、お母さんにお客様役をやっていただくことでタクシーに慣れ親しんでいただくのと同時に、求人募集のチラシを配布させていただくことで、乗務員不足の解消のバックアップをやっていただいたという事例もあります。またジャパンタクシーで車椅子の方も乗車体験していただけるようなこともできますので、ぜひチャンスがありましたらお声掛けいただけたらと思います。
(事務局)	このイベントはたいへん盛況でした。お子さんは乗りものに乗ることは大好きだと思いますし、お子さんのうちからタクシーに乗る機会は中々少ないと思います。こういったお仕事なのかを知らせてもらう良い機会だとも思いますので、またこのような機会があった時には、参画していただけるようにちこフェスの担当者へ相談したいと思います。
(市長)	より多くの職業を体験していただくという趣旨にもなっているかと思っておりますので、また機会があればご協力いただきたいと思っております。
(会長)	色々ないい意見が出てきたと思いますので、今後活かしてほしいと思います。 報告事項は以上となります。 ここからは協議事項が2件あります。最初に「地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）の事業評価について」事務局より説明をお願いします。
(事務局)	【資料 6-1・6-2 に基づき説明】
(会長)	ただ今の、地域公共交通確保維持事業の事業評価の説明に関しまして、ご意見・ご質問がありましたらよろしくお願いいたします。
(委員)	この間、三河八橋駅のバス停の変更について町内回覧が回っていたのですが、それにはバス停の場所の変更のことが書いてありませんでした。豊田市の方にも聞かれたのですが、バス停はどこになりましたか。
(事務局)	三河八橋駅のバス停の位置は変更になりました。今委員がお持ちの豊田市の工事案内のチラシではわかりにくいと思いますが、東口から西口に変更になりました。
(会長)	工事が進むにつれてバス停の位置も多少変わるのかもしれませんが、駅で降りてバスに乗られるお客様の為に、何か駅にバス停がどこにあるかなど、仮でも良いので掲示していただいと良いですね。
(委員)	すみません。現状を把握ができていませんが、お客様の利便性の向上の為にはそのような対応も必要かと思っておりますので、一度関係駅の方に確認を取りまして、対応させていただきたいと思っております。
(会長)	では評価としては、今回全てAということで、県の方に提出していくこととなりますが、協議会としてこれを承認するかどうかということをご諮りたいと思っております。 この評価で承認するという方、挙手をお願いいたします。
(委員)	(全員挙手)
(会長)	ありがとうございます。 挙手全員で「地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）の事業評価について」は議案通り承認させていただきます。
(会長)	次に協議事項2つ目「本郷知立線供用開始に伴う路線変更及びバス停の移設について」資

	料7に基づいて事務局より説明をお願いします。
(事務局)	【資料7に基づき説明】
(会長)	道路整備と絡めたバス停の移設です。何かご意見・ご質問があればお願いいたします。
(委員)	具体的にバス停移設における利便性の向上とはどういったことかお伺いしたいです。
(事務局)	東栄バス停の近くに中央子育て支援センターがあります。移設後はセンターにより近くなりますので、利用される乗客の方にとっての利便性の向上とさせていただいております。
(委員)	わかりました。ありがとうございます。
(委員)	このバス停の移設先にベンチなどの設置は考えられていますか。
(事務局)	移設の位置につきましては、暫定という形になっておりまして、資料にある図面の位置でバス停が確定しましたら、ベンチ等の設置についても考えていきたいと思っております。
(会長)	<p>今後はこのバス停ということだけではなくて、順次ベンチを置いたり、屋根をつけられるところにはつけたりといったことも、利便性の向上といった意味では必要ではないかと思っております。バス停も多いので優先順位をつけるのも大変だとは思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、こちらにつきましても協議案件となっております。「本郷知立線供用開始に伴う路線変更及びバス停の移設について」承認いただける方は挙手をお願いいたします。</p>
(委員)	(全員挙手)
(会長)	<p>ありがとうございます。挙手全員で「本郷知立線供用開始に伴う路線変更及びバス停の移設について」議案どおり承認させていただきます。</p> <p>議題としては以上となります。市民の方も活発に意見をいただけて、とても良い会議となったと思っております。それでは進行を事務局にお返しします。</p>
5. その他	
(司会)	<p>多くのご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは最後の5その他に入ります。委員の皆さんからご意見・ご質問ありましたらお願いします。</p>
(委員)	【「Ma a Sの実証実験についての説明」】
(司会)	今の説明について何かご質問等がありましたらお願いします。
(委員)	来年、三河知立駅が移転しますが、バスの乗り入れの予定などはありますか。
(事務局)	<p>駅ができた後に人の流れ等を調査しまして、利用のニーズが多いようであれば考えていきたいといったところであります。現状でも一つバス停を増やすとルートの変更をして便数の調整を行い、ダイヤの変更も考えなければなりません。</p> <p>他の利用者の方にも影響が出ますので早急に決定はできませんが、駅からミニバスに乗り換える等の利用のニーズが多ければ考えたいといった段階であります。</p>
(委員)	一つ駅ができることで起きる周囲への影響等、色々考えて決めていく必要があると思っております。
(委員)	新たな駅ができることによってそこに住む方たちは、バスが来るのを楽しみにしていると思っております。ニーズ調査はもっと早い段階でできないものなのでしょうか。現段階で新しい駅にバスが乗り入れないということであれば、それを事前に周知することが必要ではないのでしょうか。

(事務局)	<p>「新しい駅にバスが乗り入れてほしいですか」という調査であれば、多くの方が「乗り入れてほしい」と回答されると思いますが、他の利用者の方にも影響が出るため実際にバスが来た時に、利用されるかどうかで判断しなければいけないと考えています。また、開業前のため、現段階での動向調査は難しいと思っています。</p> <p>新しい駅にバスは停まらないといった周知については行政として、まだ正式に決まっていない状態での市民への情報提供は、しにくいということをご理解いただけるとありがたいです。動向調査やニーズ調査については委員のご提案のとおり、LINE等今のご時代に合った方法で行っていきたいと思っています。</p>
(司会)	<p>ありがとうございます。様々なご意見を参考にしながら、今後のバスルート等の検討を行っていきますので、よろしくお願いいたします。</p>
(委員)	<p>最後にまとめのような形になってしまいますが、気になったことだけ何点かご提案させていただければと思います。乗車人数や幹線系統について、2コースでは計画人数ギリギリの形にはなっていますので、今後は何かしらの対策を考えていただいた方が良いと思います。また種別調査の自動化につきましては、国の補助金の利用ができるようなものもあると思いますので、ご利用いただければと思います。またイベントに関していえば、グッズ目当てで来られている方も非常に多いと思います。グッズの効果はすごいと思っているところであり、参加者を増やすといった意味合いでも限定的なグッズの提供なども検討いただくと良いのではと思いました。</p>
(司会)	<p>知立市のマスコットキャラクターであるちりゅっぴを使用した啓発であったり、名鉄バス様にご協力いただいたグッズ提供であったり、イベントでPRしていくといったこともとても大事なことでと思います。今後もこのような機会がありましたら私どもも積極的に参加していきたいと思っております。ご協力・ご指導いただければと思います。</p>
(事務局)	<p>【連絡事項について説明】</p>
(司会)	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の総合公共交通会議はこれで終了とさせていただきます。</p> <p>本日は、お忙しい中ありがとうございました。</p>
<p>6. 閉会</p>	